

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】 S-G39

申請日	2025/9/17	承認日	2025/10/3	委員長	印
レジメン登録	2025/10/29	仮承認日		承認者	印

Pemb+FP	病名	胃癌	外科	提出医	Dr
対象	Her2陰性の治癒切除不能な進行・再発胃癌の一次治療(CPS≥1)				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m <sup>2</sup> 等)	投与方法 div. iv. po等	投与スケジュール (日)												
			1	5	8	10	15	20	22	25	35				
キイトルーダ(ペンプロリズマブ)	200mg/body	div	○												
シスプラチン	80mg/m <sup>2</sup>	div	○												
フルオロウラシル	800mg/m <sup>2</sup> /day	持続点滴	○	○	○	○	○								
投与間隔・休薬期間等：21日＝1コース															
CDDPは6コースまで															
【S-G40】 Pemb+5-FUに変更。Pembは【S-G39】より数えて35コースまで。															

【投与処方例（前投薬など）】

Day1～5は、体重測定を実施。

治療開始時(1日目)より1日で0.5kg増加した際は、医師に連絡。必要に応じて検査、利尿剤を追加。

腎機能の評価のためにDay1以外にDay4、8に血液検査を実施。

必要に応じてハイドレーションを追加(採血は主治医判断)

※キイトルーダ、シスプラチン投与時は、フルオロウラシルは止め、終了後再開する。

※フルオロウラシル24時間持続点滴について・・・ポンプの流量誤差を考慮し、適宜速度を調整する

Y側管【水色】 day1～5

- ① Y側管【水色】 生理食塩水液1000mL＋フルオロウラシル /div (24時間持続点滴)

メイン day1

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div  
② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL＋アロカリス1V＋パロノセトロン1V＋デキサート9.9mg /div 30分  
③ メイン【赤-2】 生理食塩液50mL /div 5分  
④ メイン【赤-3】 生理食塩液100mL＋キイトルーダ /div 30分  
⑤ メイン【白-1】 ソリタT1 500mL＋硫酸マグネシウム8mL (=8mEq) /div 1時間  
⑥ メイン【白-2】 マンニトールS注射液 300mL /div 全開 (15分)  
⑦ メイン【白-3】 生理食塩液500mL＋シスプラチン /div 2時間  
⑧ メイン【黄-1】 ラクテック500mL /div 3時間  
⑨ 【コネクタ1】 プリンペラン注射液10mg /iv 5分  
⑩ メイン【黄-2】 ラクテック500mL /div 3時間

メイン day2. 3. 4

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div  
② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL＋デキサート6.6mg＋プリンペラン10mg /div 30分  
③ メイン【赤-2】 ラクテック500mL /div 3時間  
④ メイン【赤-3】 ヴィーンD 500mL /div 3時間  
⑤ 【コネクタ1】 プリンペラン注射液10mg /iv 5分  
⑥ メイン【赤-4】 ラクテック500mL /div 3時間

メイン day5

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div

- ② メイン【赤】 ラクテック500mL /div 3時間  
③ 【コネクタ1】 プリンペラン注射液10mg /iv 5分

#### 制吐剤セット処方⑥

☐DMがない場合

Day1～4 オランザピン5mg 1錠(分1 夕食後)

☐DMがある場合はオランザピン禁忌、下記の代替薬

Day1～4 ワイパックス0.5mg 2錠(分2 朝・夕食後)

コントミン12.5mg 1錠(吃逆時) 10回分 1日3回内服可

#### 【腎機能低下時の減量方法】

##### ※シスプラチン

Ccr46～60mL/min : 75%Dose

Ccr31～45mL/min : 50%Dose

Ccr<30 : 禁忌

#### 【副作用による減量基準】

##### ※シスプラチン

好中球減少 $\geq$ G4、FN=G3、血小板減少 $\geq$ G3(7.5万以上に回復後) 1段階減量

Scr上昇 $\geq$ G2、耳毒性 $\geq$ G3、感覚性ニューロパチー $\geq$ G3は、G1以下に回復後に1段階減量

初回投与量 : 80mg/m<sup>2</sup>

1段階減量 : 60mg/m<sup>2</sup>

2段階減量 : 40mg/m<sup>2</sup>

##### ※フルオロウラシル(5-FU)

好中球減少 $\geq$ G4、FN=G3、血小板減少 $\geq$ G3(7.5万以上に回復後) 1段階減量  
下痢、粘膜炎、手足症候群 $\geq$ G2は、G1に回復後に1段階減量

初回投与量：800mg/m<sup>2</sup>/日

1段階減量：600mg/m<sup>2</sup>/日

2段階減量：400mg/m<sup>2</sup>/日

参考文献：KEYNOTE-859試験

当院患者治療目的以外は  
使用不可